

## 国 語

### 1 学習指導と評価の改善・充実

～平成17年度高等学校教育課程実施状況調査の分析結果と指導上の改善点～

#### (1) 調査の概要

ア 高等学校「国語総合」について、全国の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)の第3学年約29,800人を対象に実施した。

イ 全47問中、10問が平成14年度調査と同一問題であった。

#### (2) 調査結果の概要

##### ア 調査結果の特色

(ア) 通過率が設定通過率を上回る又は同程度と考えられる問題数は、全47問中35問であった。また、下回ると考えられる問題数は、12問であり、そのうち9問が古典に関する問題であった。

(イ) 求答式・記述式問題において無解答率が15%を超えた問題の割合が、前回調査より増加した。

##### イ 調査結果のポイント

###### 話すこと・聞くこと

・話の内容を的確に聞き取ることなど、指導の成果が上がってきているといえる。

###### 書くこと

・相手や目的に応じた、効果的な表現を考えて書くことなど、指導の成果が上がってきているといえるが、手紙文の構成について理解し、適切な用語を使うという基礎・基本となる知識・技能については課題がみられた。

###### 読むこと

・近代以降の文章について、文章の内容を叙述に即して的確に読み取る力はおおむね身に付いている。  
・古典について、文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、人物の心情を表現に即して読み味わったりすることなど、読む能力に課題がみられた。  
・文語のきまりや訓読のきまりなど、古典を読むための基礎的・基本的な知識・技能について課題がみられた。

###### 言語事項

・漢字の読み、書き、目的や場に応じた話し方や言葉遣い、文章の組立てなどの知識・技能については、おおむね身に付いている。  
・国語の成り立ちや特質、言語の役割など、語彙に関する知識・技能が十分身に付いていない。

###### 質問紙調査

・「国語の勉強は大切だ」において肯定的な回答をした生徒に比べ、「国語の勉強が好きだ」において肯定的な回答をした生徒の割合が低いという、前回調査と同様の傾向がみられた。  
・「人前でスピーチや説明をすること」や「文学的な文書を読むこと」などにおいて、教師は「生徒は興味を持ちやすい」と回答している割合が多いのに対して、生徒は「嫌いだった」と回答する割合が多く、意識差がみられた。

### (3) 調査結果を踏まえた指導上の改善点

各学校においては、次に示す「平成17年度高等学校教育課程実施状況調査の結果を踏まえた指導上の改善点」や16ページ以降に示した具体的な指導例を参考にするとともに、各学校の実態に即し、指導の工夫・改善を図ることが重要である。

#### 平成17年度高等学校教育課程実施状況調査の結果を踏まえた指導上の改善点

##### 国語を学ぶ意義を明確にする

国語を学ぶ意義を明確にし、自ら進んで学ぶ態度や姿勢を育成する。

- ・分かる授業、自ら気付く授業、成長の実感が得られる授業、実生活に役立つと思える授業等を通して、生徒に学ぶ喜びや有用感を体験させる。

##### 伝え合う力を身に付けさせる

伝え合う力を広げ深めることで、考える力・社会性の涵養を目指す。

- ・グループ学習や生徒による相互評価など、深い人間的交流を促すような学習形態の工夫を通して、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う力の育成を図る。
- ・「読むこと」の学習において、様々なテキストを比べて読み、意見を交わし合うことを通して伝え合う力を広げ深めることで、考える力や社会性の涵養を目指す。

##### 根拠や証拠を踏まえた論理的表現力を育成する

根拠や証拠をテキストや資料から読み取って検討し（論理的思考）、自身の考えを筋道立てて相手に分かりやすく表現する力（論理的表現力）を育成する。

- ・論理的思考力や論理的表現力の育成を図るため、学習指導で扱うテーマの設定においても、議論が分かれる「脳死」の問題をはじめとした人の死や生に直接関係するものなど、生徒が関心をもって考えることのできる時事的な話題を積極的に取り上げる。

##### 古典の大切さを認識させる

古典の現代的な価値を理解させ、古典に親しむ態度と能力を育成し、日本人としてのものの見方、感じ方、考え方を広げ、深めさせる授業を実践する。

- ・敬語に代表される豊かな待遇表現、和文における五七調・七五調や漢文訓読体が生み出すリズム感、副詞の呼応や疑問・反語表現、和語と漢語が作り出す多彩な語彙など、現代日本語に深く根付いている古典を生徒に理解させることで、古典に親しむ態度と能力の育成を図る。
- ・日本語の語種や漢字の訓読み、旧暦や節句、旧国名など、身近に生きている古典的な事柄を通して古典の現代的な価値を示し、古典が日本文化の土台にあることを実感させる。

##### 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる

基礎的・基本的な知識・技能（実生活で必要とされる、要約・紹介・説明・記録・報告・対話や討論などの言語活動ができることなどを含む）を確実に身に付けさせるための指導を工夫し、理解力や表現力の基盤を確かなものにさせるとともに、学習への関心・意欲・態度を高める。

- ・日常あまり用いないが、読んだり書いたりするためには欠かせない語や、訓読みの漢字の学習、言葉の使い分けなどを含めた、常用漢字の読み書きをはじめとした語彙の指導の充実を図る。
- ・文章への関心を引き出し、文章の理解を確実にするための音読・朗読等の言語活動の充実を図る。
- ・言葉の変遷や表記の特徴、音韻や文法の特徴など、国語の成り立ちや特質、また、認識・思考・伝達・創造といった言語が果たす役割などについて学ばせる。

## 2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

～平成17年度高等学校教育課程実施状況調査の分析結果を踏まえた指導の改善～

### (1) 古典に親しむ態度を育成する指導の改善・充実

今回の調査では、古典を読む能力や古典を読むための知識・技能に課題があることが明らかになった。また、北海道における平成18・19年度学力等実態調査においても、古典（古文）を読む能力に課題がみられ、さらに質問紙調査では、国語を学習する上で困っていることとして、「古典を学習する意味がわからない」と回答する生徒の割合が平成18年度では37.1%、平成19年度では35.6%に上っている。

古典を読み味わうためには、古典を理解するための基礎的・基本的な知識・技能を身に付けていなければならないが、従来その指導を重視し過ぎるあまり、多くの古典嫌いを生んできたことも否めない。そこで、古典の指導に当たっては、古典の原文のみを取り上げるのではなく、教材等にも工夫を凝らしたり、古典と現代の言葉との関連を意識させたり、作品を通じて日本文化の価値を理解させたりすることで、古典に親しむ態度を育成する指導を一層充実する必要がある。

その際には、まず、古典に対する関心・意欲を高めることを重視し、古人のものの見方、感じ方、考え方に触れ、それを広げたり深めたりする指導を通して、古典を理解するための基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせていくことが大切である。

また、小学校及び中学校の学習指導要領や教科書等によって、高等学校入学時までの古典の指導の実態を踏まえるとともに、高等学校における指導内容の全体を見通した上で各学年の指導計画を立てることも大切である。

国語総合（古典分野）の年間指導計画における目標の展開の例

	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
入門期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し音読することを通して、文語体のリズムや響きに慣れ親しむ。</li> <li>・古典と現代の言葉との関連を意識し、古典に慣れ親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読を通して、文語体の表現の特色をとらえる。</li> <li>・文章に描かれた人物、情景、心情などを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いを理解する。</li> <li>・用言の言い切りの形を理解し、古語辞典を使うことができるようにする。</li> </ul>
展開期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の文章を読み、日本文化に対する関心を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、表現に即して読み味わったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用言の活用を理解する。</li> <li>・主な助詞や助動詞の意味を理解する。</li> <li>・和歌の修辞や訓読のきまりを理解する。</li> </ul>
完成期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成を確かめ、書き手の意図や主張を的確に把握する。</li> <li>・文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の用法の大体について理解する。</li> <li>・国語の成り立ちや特質について理解する。</li> </ul>

#### 参考「中学校学習指導要領 国語」

古典の指導については、古典としての古文や漢文を理解する基礎を養い古典に親しむ態度を育てるとともに、我が国の文化や伝統について関心を深めるようにすること。その教材としては、古典に関心をもたせるように書いた文章、易しい文語文や格言・故事成語、親しみやすい古典の文章などを生徒の発達段階に即して適宜用いるようにすること。なお、指導に当たっては、音読などを通して文章の内容や優れた表現を味わうことができるようにし、文語における言葉のきまりについては、細部にわたることなく、教材に即して必要な範囲の指導にとどめること。

（「指導計画の作成と内容の取扱い」の「C読むこと」に関する指導上の留意事項）

(2) 古典に親しむ態度を育成する指導の例

古典の文章に描かれた人物の心情や考え方を読み取り、自分の考え方をと照らし合わせながら読み味わうことを通して、古典の大切さを理解し、古典に親しむ態度を育成する指導の例を次に示す。

ア 単元における指導と評価の計画の例

科目名	国語総合	単元名	古文入門〔読むこと〕	
		教材名	『宇治拾遺物語』絵仏師良秀	
単元の目標	(1) 古文を音読したり内容を読み味わったりすることにより、古典に慣れ親しむ態度を身に付ける。(関心・意欲・態度) (2) 古文に描かれた人物の心情や考え方を読み取り、自らの考え方をと照らし合わせながら読み味わう。(読む能力) (3) 文章を音読するために必要な歴史的仮名遣いや、内容を理解するために必要な語句の意味などを理解する。(知識・理解)			
評価の観点	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解	
単元の評価規準	古文を音読したり内容を読み味わったりすることにより、進んで古典に親しもうとしている。	古文に描かれた人物の心情や考え方を読み取り、自らの考え方をと照らし合わせながら読み味わっている。	文章を音読するために必要な歴史的仮名遣いについて理解している。 内容を理解するために必要な主な語句の意味や用法を理解している。	
配当時間	4時間			
各時間の指導と評価の計画				
時	各時間の目標	学習活動	学習活動における 具体的評価規準	評価方法等
1	・本文を音読し、文語体のリズム、響きに慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のねらい及び学習内容を確認する。</li> <li>登場人物と主人公の状況をとらえる。</li> <li>文章を読み味わうために必要な背景を理解する。</li> <li>歴史的仮名遣いの読み方を理解し、本文を音読する。</li> </ul>	「関心・意欲・態度」 歴史的仮名遣いや地の文と会話文の違いなどを意識して音読しようとしている。 「知識・理解」 歴史的仮名遣いの読み方を理解し、文章を正しく音読することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動状況の観察</li> <li>学習プリントの記述状況及び記述内容の点検</li> </ul>
2	・主人公の心情や考え方をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の展開を、ワークシートに整理する。</li> <li>主人公の心情や考え方をとらえる。</li> </ul>	「読む能力」 文章に描かれた主人公の言葉や行動から、主人公の心情や考え方をとらえている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動状況の観察</li> <li>学習プリントの記述状況及び記述内容の点検</li> </ul>
3	・主人公の行動や考え方についての考察を通じて、読みを深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主人公の行動や考え方について自らの考えを整理する。</li> <li>主人公の行動や考え方についてグループ内で話し合う。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>【言語活動】</b>                      主人公の在り方について、学習プリントで整理した内容を基に、各自の考えを話し合う。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いを受けて、自らの考えを整理する。</li> </ul>	「関心・意欲・態度」 単なる感想にとどまらず、自らの考えを深めようとしている。 「読む能力」 主人公の行動や考え方を、自らの考え方をと照らし合わせながら読みを深めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動状況の観察</li> <li>学習プリントの記述状況及び記述内容の点検</li> </ul>
4	・文章全体の内容を確認し、主な語句の意味、用法や表現の特色を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>口語訳を行い、主な語句の意味や表現の特色を整理する。</li> <li>芥川龍之介が、古典に取材した小説を数多く書いていることについて調査する。</li> </ul>	「知識・理解」 内容を理解するために必要な主な語句の意味や用法を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動状況の観察</li> <li>ノートの記述状況及び記述内容の点検</li> </ul>

イ 各時間の指導と評価の実際

<p>第 1 時 の 目 標</p>	<p>・本文を音読し、文語体のリズム、響きに慣れ親しむ。</p>	
<p>本時の評価の観点 及び 評 価 規 準</p>	<p>「関心・意欲・態度」 歴史的仮名遣いや地の文と会話文の違いなどを意識して音読しようとしている。 「知識・理解」 歴史的仮名遣いの読み方を理解し、文章を正しく音読することができる。</p>	
<p>学 習 活 動</p>	<p>指 導 上 の 留 意 点</p>	<p>評 価 の 実 際</p>
<div data-bbox="248 555 469 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>単元のねらい及び 学習内容を確認する。</p> </div> <div data-bbox="248 792 469 936" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>登場人物と主人公 の状況をとらえる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物と主人公の置かれている状況を確認しながら文章全体のおおまかな内容を把握する。</li> </ul> <div data-bbox="248 1182 469 1326" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>文章を読み味わう ために必要な背景 を理解する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の京都の様子や仏画など、文章を読み味わうために必要な背景を確認する。</li> </ul> <div data-bbox="248 1532 469 1675" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>歴史的仮名遣いの 読み方を理解し、 本文を音読する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表記と読みの違いなど、歴史的仮名遣いについて正しく理解し、音読に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のねらいや流れが分かるよう簡潔かつ明瞭な説明を行う。</li> <li>・全体を把握するために、教師の範読に続けて音読させる。</li> <li>・学習プリントを用いて、全体の内容を大まかに確認させる。(学習プリント の一、二)</li> <li>・内容の把握ができているか、発問により確認する。</li> <li>・副教材等の図版を活用して当時の様子を知ること、内容に対する興味・関心を高める。</li> <li>・歴史的仮名遣いについて、簡潔に説明する。</li> <li>・学習プリントを用いて、会話主を確認してから音読させる。(学習プリント の三)</li> <li>・次の点に留意して音読するよう指導する。 しっかりと声を出し、歴史的仮名遣いを正確に読むこと。 地の文と会話文の区別や、会話主の区別を意識して読むこと。</li> <li>・二人一組にして、お互いに評価しながら読ませる。</li> </ul>	<div data-bbox="884 831 1417 1077" style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>本時において、授業時間の前半では、主に、生徒が学習内容を理解できているかどうかについて観察・確認しながら授業を進めていき、後半では、主に、本時の評価規準に基づいて生徒の活動状況を観察して評価を行いながら授業を進めていくことになる。</p> </div> <p>「関心・意欲・態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いや地の文と会話文の違いなどを意識して音読しようとしているかを、生徒の活動状況の観察と学習プリントの記述内容の点検により評価する。</li> </ul> <p>「知識・理解」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いの読み方を理解して文章を音読しているかを、生徒の活動状況の観察により評価する。</li> </ul> <div data-bbox="884 1666 1417 1816" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【評価Cの生徒への指導の手だて】 歴史的仮名遣いが正しく読めない生徒に対しては、再度発音のきまりを確認させ、繰り返し読む練習をするよう助言する。</p> </div> <div data-bbox="884 1845 1417 2024" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価Cの生徒への指導の手だて】 地の文と会話文の違いや会話主の違いを意識できない生徒に対しては、学習プリント の三を参考に、教科書の会話文に会話主を記入して読む練習をするよう助言する。</p> </div>

第 3 時 の 目 標	・主人公の行動や考え方についての考察を通じて、読みを深める。	
本時の評価の観点及び評価規準	<p>「関心・意欲・態度」 単なる感想にとどまらず、自らの考えを深めようとしている。</p> <p>「読む能力」 主人公の行動や考え方を、自らの考え方と照らし合わせながら読みを深めている。</p>	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 の 実 際
<div data-bbox="245 584 464 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">主人公の行動や考え方について自らの考えを整理する。</div> <div data-bbox="245 1088 464 1296" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">主人公の行動や考え方についてグループ内で話し合う。</div> <p>【言語活動】 主人公の在り方について、学習プリントで整理した内容を基に、各自の考えを話し合う。</p> <div data-bbox="245 1592 464 1760" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">話し合いを受けて、自らの考えを整理する。</div> <p>・話し合いを通じて、気付いたことや感じたことを踏まえ、自分の考えを整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の考え方の特徴を踏まえて、自分の考えを整理するよう指導する。</li> <li>・学習プリントを用いて自分の考えをまとめさせる。(学習プリントの一、二)</li> <li>・そのように考えた理由を分かりやすくまとめさせる。</li>   <li>・次の点に留意して話し合いを行うよう指導する。 発言の際には、単なる感想にならないよう、そのように考えた理由を述べること。 グループ内の意見を一つにまとめるのではなく、個々の意見と理由を大切にすること。</li> <li>・グループ内の話し合いが活発化するよう、机間指導を行う。</li>   <li>・学習プリントを用いて整理させる。(学習プリントの四)</li> <li>・次の点に留意して整理するよう指導する。 自他の考えの共通点や相違点等、話し合いの成果を生かすこと。 単なる感想にならないよう、そのように考えた理由を分かりやすく整理すること。</li> </ul>	<p>「関心・意欲・態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の考え方について、単なる感想にとどまらず、自分の考えを述べようと意欲的な取組がなされているかを、生徒の活動状況を観察したり、学習プリントの記述内容を確認することにより評価する。</li> </ul> <div data-bbox="873 869 1404 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>—— 【評価Cの生徒への指導の手だて】 ——</p> <p>感想しか述べられない生徒に対しては、その感想を思いついた本文の箇所を指摘させ「 から、 と考えた」という説明をさせる。</p> </div> <div data-bbox="873 1126 1404 1552" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>言語活動は、既習の言語能力を用いて本時の目標を達成するための活動であり、本時の指導事項としていないことから、原則として評価の対象とはしない。</p> <p>ただし、言語活動で用いる言語能力が十分身に付いていない生徒に対し、本時において継続的に指導することはあり得る。また、言語活動を授業に積極的に取り入れることで、既習の言語能力を一層高めることは重要である。</p> </div> <p>「読む能力」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の行動や考え方を自らの考え方と照らし合わせて読みを深めているかを、生徒の活動状況を観察したり、学習プリントの記述内容を確認することにより評価する。</li> </ul> <div data-bbox="873 1839 1404 2018" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>—— 【評価Cの生徒への指導の手だて】 ——</p> <p>自分の考えがうまく整理できない生徒に対しては、主人公の考え方に対する賛否の立場を明らかにさせ、その理由を考えさせる。</p> </div>

	学習プリント 「絵仏師良秀」  組 氏名
<p style="text-align: center;"><b>本時の学習と目標</b></p> 歴史的仮名遣いに注意して本文を音読し、古文のリズムや響きに慣れ親しむとともに、登場人物や主人公の状況、会話主をおおまかに把握する。	
<p style="text-align: center;"><b>授業の反省と評価</b></p> 歴史的仮名遣いに注意して意欲的に本文の音読に取り組み、古文のリズムや響きをつかむことができたか。 ・ 自己評価 ( A・B・C ) ・ 教師評価 ( A・B・C ) 登場人物や主人公の状況、会話主をおおまかに把握することができたか。 ・ 自己評価 ( A・B・C ) ・ 教師評価 ( A・B・C )	
<p style="text-align: center;"><b>授業の反省と評価</b></p> 「自己評価」は学習活動である。評価は、自己評価の記述も対象として、目標を設定した教師が行う。	
<p style="text-align: center;"><b>本時の学習と目標</b></p> 良秀の行動や考え方に対する自分の考えをまとめ、グループでの話し合いを通して、自らの読み(＝考え)を深める。 良秀の行動や考え方の特徴をまとめよう。(前時の確認)	
<p style="text-align: center;"><b>授業の反省と評価</b></p> まとめや話し合いを通して、自分の考えを深めることができたか。 ・ 自己評価 ( A・B・C ) ・ 教師評価 ( A・B・C )	

	学習プリント 「絵仏師良秀」  組 氏名
<p style="text-align: center;"><b>本時の学習と目標</b></p> 良秀の行動や考え方に対する自分の考えをまとめ、グループでの話し合いを通して、自らの読み(＝考え)を深める。 良秀の行動や考え方の特徴をまとめよう。(前時の確認)	
<p style="text-align: center;"><b>授業の反省と評価</b></p> まとめや話し合いを通して、自分の考えを深めることができたか。 ・ 自己評価 ( A・B・C ) ・ 教師評価 ( A・B・C )	
<p style="text-align: center;"><b>授業の反省と評価</b></p> 「自己評価」は学習活動である。評価は、自己評価の記述も対象として、目標を設定した教師が行う。	
<p style="text-align: center;"><b>本時の学習と目標</b></p> 歴史的仮名遣いに注意して本文を音読し、古文のリズムや響きに慣れ親しむとともに、登場人物や主人公の状況、会話主をおおまかに把握する。	
<p style="text-align: center;"><b>授業の反省と評価</b></p> 歴史的仮名遣いに注意して意欲的に本文の音読に取り組み、古文のリズムや響きをつかむことができたか。 ・ 自己評価 ( A・B・C ) ・ 教師評価 ( A・B・C ) 登場人物や主人公の状況、会話主をおおまかに把握することができたか。 ・ 自己評価 ( A・B・C ) ・ 教師評価 ( A・B・C )	

## Topic

## 読書活動の推進について

読書活動は、全ての教科の基盤となる国語力を育成する上で、有効な活動の一つであり、読書習慣を身に付けることは、一生の財産として生きる力となり、楽しみの源となります。

文化審議会答申「これからの時代に求められる国語力について」(H16)においても、国語力を向上させるには、「自ら本に手を伸ばす子供を育てる」ことが何よりも大切であり、読書活動については、国語科だけでなく、すべての教科にわたって全校を挙げて取り組むものとして、学校教育の中に明確に位置付けられることが必要であるとしています。

道教委では、「新たな高校教育に関する指針」において、読書活動の充実を図る方策について検討することとしています。また、現在、平成15年度に策定した「北海道子どもの読書活動推進計画」の改定作業を行っており、本年度内に平成20年度以降の計画を策定する予定です。

### 各学校における実践例

#### A 高等学校

各種発行物等による啓発活動の実施

- ・目的別に5種類の館報の発行
- ・「A高生に勧める本」(担任篇・副担任篇)の発行
- ・館内テーマ展示、学校祭特別展示などによる書籍の紹介

読書活動の推進

- ・校長、教頭、分掌主任、教科担任、生徒等による「読書週間ブックトーク」の実施
- ・読書推進キャンペーン「読書を楽しもう」の取組(各学級図書委員による「勧める本」の紹介、ポスターの作成など)
- ・学級文庫への支援(図書館図書の貸し出し)

教科等への支援

- ・1学年...宿泊研修における「図書オリエンテーション」の実施(図書館利用案内、読書指導等)
- ・教科関連図書展示コーナーの設置
- ・パスファインダーの作成

#### B 高等学校

図書館講座の開催

- ・「活字を動かす表現者たち」、「絵・本・物語」、「ひと・地域をつなぐ力」、「こどもの生活 ほんとの時間」の4つのテーマについて、作家、版画家をはじめ、出版、雑誌、書店、メディアの関係者などの外部講師を招聘し、9回の講座を開催

書店における校外展示の実施

- ・札幌市内の書店において、生徒が推薦した書籍をテーマ展示

#### C 高等学校

司書教諭だよりの発行

- ・司書教諭の役割や各教科における図書館活動の紹介など、教職員向けの啓発活動の推進

読書週間における読書活動の推進

- ・LHRにおける読書活動の支援
- ・多彩な図書館活動の実施
- ・進路学習のための本の紹介
- ・新刊書の紹介など、図書館内のレイアウトの工夫